

箱田氏館跡

— 遺跡見学会資料 —

平成24年2月 熊谷市教育委員会

はじめに

箱田氏館跡は縄文時代後期（約3100年前）から平安時代末期（約800年前）の遺跡です。これまで2次の発掘調査を行い、平成22年度は縄文時代後期の多量の土器や土偶などの特殊な遺物の出土と、市内初となる前方後方形周溝墓を検出。平成23年度は縄文時代後期に加えて、弥生時代後期から古墳時代前期とみられる方形周溝墓より、溝内土坑を検出しました。この溝内土坑からはヒトの歯、管玉・ガラス小玉の副葬品がみつき、周辺から儀式に使われたと推定される木製品が出土しました。類例の少ない貴重な発見であることから、熊谷市教育委員会では昨年の成果も含めて、遺跡見学会を開催させていただくこととなりました。



H22年度出土 ミミズク土偶

溝内土坑出土の遺物



管玉（緑色凝灰岩・蛇紋岩）・ガラス小玉



ヒトの歯（成人20～30才代か）

溝内土坑周辺より出土



木製品（棒状・板状・炭化物の計3点）

溝内土坑



北から撮影（長2m幅0.6m深0.2m）

熊谷デジタルミュージアムでは、市内の文化財をご紹介します。文化財日記では最新情報を随時発信中。

<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/index.htm>

箱田氏館跡 調査区 略図

